



duomo…イタリア語で町一番の教会という意味です。弊社がお客様や地域の人たちから親しまれ必要とされ町一番の会社になれるようにとの願いを込めてこの名前に決めました。

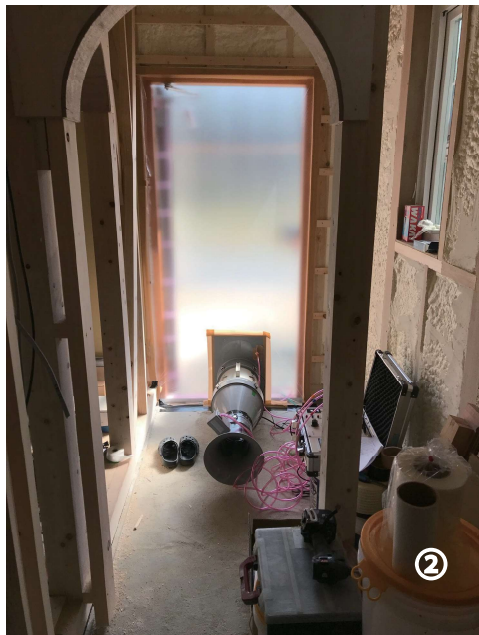
もう、そんなに寒さを感じない日が続きます。冬があっという間に、どこかに、追いやられて、季節は、春へと変わってしまい、どうかすると、初夏の気配さえ漂ってきそうです。地球温暖化の兆候なのかどうかは分かりませんが、これまでとは違う季節の変化を感じます。温暖化という優しい響きの言葉とは裏腹に、今年は、この変化が、昨年真備町を襲った何十年に一度といわれるような大雨や、巨大台風につながる事のない様にと心から願います。

下足守の家 外壁吹付ウレタン充填断熱+E P S付加断熱工事



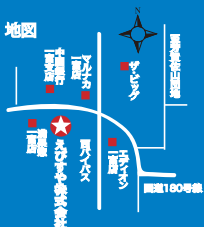
先月のドームでも、触れたように、外壁の断熱工事をしています。写真①で水色に見えるのが、防水と、気密を取るための防水塗料です。ここで、雨水の侵入を完全にシャットアウトします。この上に、白く見えるEPS(ビーズ法ポリスチレンフォーム)と呼ばれる断熱材(厚さ50mm)を、貼りつけます。貼りつけた後、包帯の親玉のようなメッシュシートと呼ばれるシートでそれを覆い、樹脂モルタルで塗り込んでいきます。この上からさらに、仕上げ材を塗り、外壁の完成です。メッシュシートで巻き固めていますので、外壁のひび割れとかがしにくくなり、きれいな状態を長く保つことができます。

外壁の内側からは、写真②のように、吹付ウレタンを85mm吹き付けています。ちなみに屋根には、内側に200mm吹き付けています。この家は、外側を、屋根は200mm、壁は135mm、基礎は50mmの断熱材ですっぽりと覆った住まいなのです。



また、写真②の中央に見えるラップのような機械は、建物の気密を測るための機械です。ドアとか窓などの開口部を閉じた状態でどれだけの隙間がこの家にあるのかを測ります。建物の気密の度合いを表す数値をC値(相当隙間面積)といい、建物全体の隙間面積を、床下を含めた実質床面積で割算した数値(cm^2/m^2)で表わします。国の基準ではその値が $2 \text{ cm}^2/\text{m}^2$ 以下であれば高气密住宅であるとしていますが、実際はそれでは、不十分で、C値が0.3から0.7くらいに収まるのが望ましいと言われていました。では、こちらの建物のC値はといえば、

$C \text{ 値} = \text{総相当隙間面積} 12.0 \text{ cm}^2 \div \text{実質床面積} 138.46 \text{ m}^2 = 0.087 \text{ cm}^2/\text{m}^2$ でした。
桁違いの超高気密住宅といえます。



ご連絡先  **086-284-6170**
えびすや建築工房

TEL. 086-284-6170 E-mail. info@ebisuya-net.co.jp
FAX. 086-284-6175

えびすや 株式会社 〒701-1211 岡山市北区一言113-1

こちらから無断でお問い合わせはできません。